

◇信仰と生活委員会報告

(3月5日)

会の始めに大畑主教より「宣教の働きは思い通り進まず、行きつ戻りつしながら進んでいくが、そこに必ずイエスが共にいてくださることを忘れずに歩んでいきたい」というメッセージをいただいた。

また委員会の今後のあり方として「東京教区が出した宣教方針『いと小さき者と共に生きる』と聖公会の宣教の五指標を踏まえて、委員会の働きを進めていただきたいが、課題は山のようにあり、その中で最優先課題は何か、それをどうやって進めて行くかを考えていただきたい」と語った。

その後、自由に委員会のあり方について討議、「真面目なことだけでなく、もっと楽しいイベントをしたい」「各教会で困っていることなどをリサーチして、それを解決する手助けができればいいのではないか」「子ども、中高生、青年、壮年と人生の移ろいに応じて、その信仰

生活の現場に結びついたことを考える」「今年は戦後70年でのための学びをしたらどうか」などの意見が出され、継続審議となった。

報告事項

・5月16日(土)、日曜学校スタッフ連絡会主催の「子どもフェスタ」を聖三一教会で開催(次回4月17日)

◇常置委員会報告(3月9日)

会の始めに諸聖徒幼稚園閉園にともない、牧師・担当者からのお話しを伺った。

教務主事報告

・4月よりヤマト運輸のメール便廃止に伴う教区郵便物の対応について

財務主事報告

・2月末の会計収支報告
宣教主事報告

・各委員会についての報告

・教区ホームページをリニューアルするため作業中

・第49回日韓の歴史を学ぶ会を3月22日(日) 15時から聖パルナバ教会で開催

・4月25日(土) 13時30分から「拡大大委員長連絡会」を開催

・東京教区の代祷・信施奉献先に「大韓聖公会釜山教区済州教会(11月)」新設に対し、朴主教より御礼の連絡があった。

協議事項

・3月29日の合同堅信式について
・教区会提出の議案について確認
・退職司祭の退職金について
・人事について

◇【本日開催】第6回東京教区青年会・青年会卒業式

36歳を迎えた仲間の卒業式を皆で作ります。

日時: 3月22日(日) 17時

場所: 聖アンデレ主教座聖堂
対象年齢: 18歳〜35歳
参加費: 500円

問合せ: 03(3431)2822

(聖アンデレ主教座聖堂)

e-mail: seinenkai.tko@nssk.org

詳細は、各教会の青年会ボスターをご参照下さい。
当日参加 大歓迎です!

◇東京教区の「使命」について語る懇談会

*第3回

3月28日(土) 10時半〜12時

聖パウロ教会

*第4回

3月28日(土) 14時〜15時半

今週・来週の予定

3月22日〜4月4日

- | | |
|-------|---|
| 22(日) | 大斎節第5主日
諸聖徒幼稚園閉園感謝礼拝
城南G教会協議会
下町G教会協議会
山手G教会協議会 |
| 25(水) | 資料保全委員会
人権委員会 |
| 27(金) | 東日本大震災支援対策室 |
| 28(土) | 東京教区の「使命」について語る懇談会(聖パウロ教会・真光教会) |
| 29(日) | 復活前主日
合同堅信式 |
| 4月 | |
| 2(木) | 聖油聖別の聖餐式(聖アンデレ主教座聖堂) |
| 3(金) | 受苦日(聖アンデレ主教座聖堂) |

真光教会

◆としえの平安

3月10日 山本 幸子(85)

聖テモテ

3月14日 月岡久美子(82)

聖ルカ

3月14日 堀 榮一(90)

諸聖徒

3月17日 菊池 正一(92)

聖ペテロ

3月17日 小林 京子(87)

小金井

▽U26アクションプラン企画

合同聖書研究会

日時…4月12日(日)15時

場所…聖アンデレ教会

対象…18〜26歳

問合せ先:bl.b.b.34@gmail.com

2月に行われた第4回U26集会のプログラムの一環で、横浜教区と合同聖書研究会を行います。

U26に関する詳細は『活動発信センター』(<http://nssk-u26.blogspot.jp/>)を閲覧下さい。(青年担当 新田宛)

ターに来る人はそれぞれ「重荷」を背負っている人たちが多く私たちは寄りそうことを大切にしています。

総主事

呉光現(オ・クアンヒョン)

・女性の家HELP

生野地域で共に生きるということは在日韓国朝鮮人と日本人が共に生きることでもあります。そしてそれはすべての人が尊重されることにつながります。

生野地域は戦前からの在日に加えて80年代後半から韓国から新たに多くの人が渡日してきました。それに加えて中国の朝鮮族の人たちも増加しています。今や大きなコリアンコミュニティになりつつあります。もちろんアジア各国を始めとしていろいろな外国人も共存しています。ここ数年はヘイトスピーチが生野地域にも吹き荒れましたが多くの人と共に闘い、現在は生野地域では鳴りを潜めています。右傾化の進む中で「共に在ること」を大切にしてくれ

から働いて行きたいと願っています。

女性の家HELPは、日本キリスト教婦人矯風会の創立100周年記念に1986年に設立された日本で草分けの女性と母子のシェルターです。緊急避難センターとして、国籍・宗教・在留資格の有無を問わず、シェルターと電話相談を行っています。設立時から非正規在留(オーバーステイ・無国籍)の女性と母子を受け入れてきました。今夜、安全に滞在する場所のない方に居場所を提供し、次の新しい一足を踏み出す準備のお手伝いをしていきます。

設立以来2013年3月までに大人4808人、子ども1271人を受け入れました。日本人…大人2019人、子ども626人、外国人…大人2789人、子ども645人です。設立当初は、外国人入所者の90%が人身取引被害者で、ほとんどが帰国しました。1990年代後半から外国人の入所理由が日本人配偶者の暴力へ変化し、日本に定住を希望するケースが増えました。日本人は配偶者の暴力、居所なしが入所理由の大半です。特に最近では10代の入所者が増え、現行制度の中では自立に向けた支援が難しいケースが何件もありました。そのような法の狭間にいる日本人や外国人を、民間機関であるHELPが独自に支援せざるを得ないこともあります。制度が整えられるように政府に提言することもミッションです。

聖公会生野センターはNP

O法人になって10年を経ました。現在移転後8年がたち毎週在日の高齢者、地域の障がい者、韓国語教室に通う人々と「種々雑多な人たち」の集う場になっています。セン

ターに来る人はそれぞれ「重荷」を背負っている人たちが多く私たちは寄りそうことを大切にしています。

女性の家HELPは、日本キリスト教婦人矯風会の創立100周年記念に1986年に設立された日本で草分けの女性と母子のシェルターです。緊急避難センターとして、国籍・宗教・在留資格の有無を問わず、シェルターと電話相談を行っています。設立時から非正規在留(オーバーステイ・無国籍)の女性と母子を受け入れてきました。今夜、安全に滞在する場所のない方に居場所を提供し、次の新しい一足を踏み出す準備のお手伝いをしていきます。

設立以来2013年3月までに大人4808人、子ども1271人を受け入れました。日本人…大人2019人、子ども626人、外国人…大人2789人、子ども645人です。設立当初は、外国人入所者の90%が人身取引被害者で、ほとんどが帰国しました。1990年代後半から外国人の入所理由が日本人配偶者の暴力へ変化し、日本に定住を希望するケースが増えました。日本人は配偶者の暴力、居所なしが入所理由の大半です。特に最近では10代の入所者が増え、現行制度の中では自立に向けた支援が難しいケースが何件もありました。そのような法の狭間にいる日本人や外国人を、民間機関であるHELPが独自に支援せざるを得ないこともあります。制度が整えられるように政府に提言することもミッションです。

聖公会生野センターはNP

O法人になって10年を経ました。現在移転後8年がたち毎週在日の高齢者、地域の障がい者、韓国語教室に通う人々と「種々雑多な人たち」の集う場になっています。セン

ターに来る人はそれぞれ「重荷」を背負っている人たちが多く私たちは寄りそうことを大切にしています。

女性の家HELPは、日本キリスト教婦人矯風会の創立100周年記念に1986年に設立された日本で草分けの女性と母子のシェルターです。緊急避難センターとして、国籍・宗教・在留資格の有無を問わず、シェルターと電話相談を行っています。設立時から非正規在留(オーバーステイ・無国籍)の女性と母子を受け入れてきました。今夜、安全に滞在する場所のない方に居場所を提供し、次の新しい一足を踏み出す準備のお手伝いをしていきます。

設立以来2013年3月までに大人4808人、子ども1271人を受け入れました。日本人…大人2019人、子ども626人、外国人…大人2789人、子ども645人です。設立当初は、外国人入所者の90%が人身取引被害者で、ほとんどが帰国しました。1990年代後半から外国人の入所理由が日本人配偶者の暴力へ変化し、日本に定住を希望するケースが増えました。日本人は配偶者の暴力、居所なしが入所理由の大半です。特に最近では10代の入所者が増え、現行制度の中では自立に向けた支援が難しいケースが何件もありました。そのような法の狭間にいる日本人や外国人を、民間機関であるHELPが独自に支援せざるを得ないこともあります。制度が整えられるように政府に提言することもミッションです。